



大船渡労働基準監督署発表
平成 28 年 5 月 23 日

署 長 熊 谷 久
監督課長 小 林 夏 樹
(電 話) 0192 - 26 - 5231
(夜間直通) 0192 - 26 - 5239

「震災復旧・復興工事での過重労働解消を目指す気仙会議」を開催

工事発注者と施工業者が共同で「気仙宣言」を採択します

(大船渡市長ほか主要な工事発注者が「復興と過重労働」を考える会議は県内初)

大船渡労働基準監督署(署長 熊谷 久)は、管内の復興工事現場での過重労働解消に向け、「震災復旧・復興工事での過重労働解消を目指す気仙会議」を開催します。

1 会議名称

震災復旧・復興工事での過重労働解消を目指す気仙会議

(主催：岩手労働局大船渡労働基準監督署)

2 開催日時

平成 28 年 5 月 30 日(月)午後 2 時開会(所要 1 時間程度)

3 開催場所

大船渡商工会議所会館 (岩手県大船渡市盛町字中道下 2 - 25)

電話 0192(26)2141

4 会議開催趣旨

当署管内では、先月 15 日に、管内の復興工事現場で違法な長時間労働を行わせた疑いで、建設会社とその現場所長を書類送検する事案が発生しましたが、復興工事現場での過重労働は、これまでも繰り返し指導を行っている深刻な問題です。

また、復興工事現場での過重労働の背景には、契約のあり方や地域住民の理解など、施工業者だけでは解消できない構造的な問題も指摘されており、工事発注者の社会的責任に対する国民の関心も高まっています。

そのような中、復興工事現場での過重労働の解消に向けて、工事発注者と施工業者が一丸となって責任を果たしていく意思を、ここ気仙地域の総意として明確に示すため、トップレベルの関係者が一堂に会し、「震災復旧・復興工事での過重労働解消を目指す気仙宣言」を採択します。

5 参考事項

(1) 気仙会議の参集者は次のとおりです。

[発注者]

大船渡市
陸前高田市
岩手県沿岸広域振興局
国土交通省東北地方整備局南三陸国道事務所
独立行政法人都市再生機構岩手震災復興支援本部
東日本旅客鉄道株式会社東北工事事務所

[施工業者]

気仙地区復旧・復興関連大規模建設工事安全衛生等連絡協議会()
請負金額が20億円程度の大規模工事の施工業者で組織する協議会。
現在、管内29現場の施工業者で構成。
一般社団法人岩手県建設業協会大船渡支部
岩手県建設業女性マネジングスタッフ協議会

(2) 気仙会議の次第は次のとおりです。

- | | |
|--|-------|
| 1 開会宣言(大船渡労働基準監督署長) | 14:00 |
| 2 工事発注者御挨拶 | 14:05 |
| 大船渡市
陸前高田市
岩手県沿岸広域振興局 | |
| 3 岩手労働局過重労働特別監督監理官説明 | 14:20 |
| 4 震災復旧・復興工事施工業者発表 | 14:30 |
| 鹿島建設株式会社(国道45号長部高架橋上部工工事)
清水建設株式会社(陸前高田市今泉地区・高田地区整地工事)
戸田建設株式会社(赤崎小学校移転改築工事) | |
| 5 「気仙宣言」、「フォローアップ会合規約」採択 | 14:50 |
| 6 閉会 | 15:00 |

6 特集記事の編成や報道など、「復興と過重労働」をテーマにした深掘り取材をお待ちしています。

「過労死等防止対策推進法」の施行、「日本再興戦略」や「一億総活躍社会の推進」での働き方改革など、過重労働の解消は国政の最重要課題のひとつとなっています。

早期復興を願う被災地自身が、「命や健康を犠牲にしない復興」の大切さを全国に発信することは、あるべき復興の姿や働くことの意味など、重要なテーマに光を当てる絶好の機会です。今回の会議にあわせて、気仙宣言につながる被災地の過重労働の実情や、監督署の取組、工事発注者や施工業者の苦悩などを描く企画をご提案いただけましたら、積極的に個別対応させていただきますので是非ご検討ください。

お手数ですが、別紙様式にご記入の上、当署あてFAX いただきますようお願いいたします。

「気仙会議」 取材事前登録票

開催日時 5月30日(月)14:00～

開催場所 大船渡商工会議所会館

1 ご所属 _____

2 人数 _____名

3 撮影の希望(をつけてください。)

希望する 希望しない